



桂城短大設置予定地。計画ではキャンパス面積は約25,000㎡

『秋田桂城短期大学』 当初の計画を一部見直し

大館市で二つ目の高等教育機関となる「秋田桂城短期大学」。早期設置を目指して準備が進められていますが、五年十二月に基本計画の一部が変更となり、第二看護学科の設置は見送り、各学科の名称も変わることになりました。

四年十二月十八日に、学校法人秋田経済法科大学が大館市への短期大学設置の基本計画を発表。そして、法人では理事長の諮問機関として、秋田県、大館市との三者による短大設置委員会を設置し、計画の大綱、学科とその内容、校舎などについて検討を重ねてきました。

当初の計画では、設置学科を第一看護学科・第二看護学科・介護福祉学科・社会情報学科の四学科としていました。しかし、設置委員会で協議の結果、現在、全国各地で看護系高等教育機関の設置計画が進められていて、絶対数の少ない看護系教員が全国的に競合していること、しかも教員の指向は、短大の二年制よりは三年制、短大よりは四年制

大学といった傾向が強いため、二年制の第二看護学科の教員確保が難しいこと。また、二年制の第二看護学科は、高校の看護科を終えた学生を対象とした教育課程のため、大学設置認可判定の重要事項である学生確保の面で不安定要素が多いことから「現時点では八年度開校をまず第一に考えるべきではないか」として、早期開校に向けて不安を残す第二看護学科の見送りを中間答申しました。

この中間答申を受けて、経法大の理事会では、第二看護学科の設置を見送ることに決定しました。

五年五月には、教員採用などの文部省申請の準備が整わず、開校目標年度が平成七年度から八年度に変更となった

経緯もありますから、市としてもこれ以上の延期はどうしても避けたいと考えています。しかし、第二看護学科については、開校後の増設ということも考え併せて、引き続き経法大と県へ強く要望していくことにしています。

教育内容に沿って

学科名も変更

各学科の名称も変更されることになりました。

第一看護学科は「看護学科」に、介護福祉学科は「人間福祉学科」に、社会情報学科は「社会情報」だけでなく地域社会について、新たな視点から理解と知識を深め、地域の活性化へ貢献できる人材を養成するということがはっきりわかるようにと「地域

社会学科」に、それぞれ変更となります。

これらは、学生募集への効果を狙うとともに、これまで以上に教育内容に沿った名称にしたもので、学科内容の根幹はこれまでと変わりありません。また学生の定員も、第二看護学科に予定していた六十人は減となりますが、他の学科については基本計画のとおりで、総定員は四百三十人となります。

大館にふさわしく「桂城」の文字が入られた『秋田桂城短期大学』。設置予定地の技能センター跡地(清水二丁目)は、既に整地も終わり、建設を待つばかりです。市は今後も一日も早い開校に向けて全力を注ぎますので、皆さんの一層のご支援をよろしく願います。

● 学科と学科名の変更内容 ●

〈当初計画〉

学科名	1年	2年	3年	計
第1看護	50	50	50	150
第2看護	30	30	—	60
介護福祉	40	40	—	80
社会情報	100	100	—	200
計	220	220	50	490

〈変更後〉

学科名	1年	2年	3年	計
看護	50	50	50	150
—	—	—	—	—
人間福祉	40	40	—	80
地域社会	100	100	—	200
計	190	190	50	430